

九州大学基金支援助成へのお礼

平成 25 年 4 月

九州大学医学部弓道部主将

九州大学医学部弓道部は、今回の助成金を受けることで十本もの弓を購入させていただきました。

九州大学基金は、百年記念事業募金にて九州大学を応援してくださる皆様方からのご寄附を基に創設されたということをお聞きしました。基金の関係者各位はもちろんのことですが、まずはご寄附をしてくださった皆様方に、謹んでお礼申し上げます。



3月末に九州山口医科学生大会がありましたので、その写真も掲載させていただきます。

左が行射前に気合いを入れている様子、右が女子個人戦4位の射です。

医学部弓道部には例年では7～9人ほどの新生が入部してくるのですが、平成24年度には15人もの新生が入部してくれました。しかし、新生はすぐに弓を引けるというわけではありません。まずは、弓を引く「型」を憶えてもらい、その後ゴムを引いて筋力をつけてもらいます。これらの練習を1～2ヶ月行ったあと、ようやく新生は弓に触れることができます。ただし、一口に弓といっても、実際には様々な種類、そして様々な強さの弓が存在します。新生にとって特に重要なのは弓の強さであり、あまりにも強い弓を最初から引くとせっかく憶えた「型」が崩れたり、体を壊す原因となったりしてしまいます。そこで自分の体に適した強さの弓を扱えるようになるために、新生は最初は弱い弓で練習を重ね、時間をかけて徐々に強い弓を使うようになっていきます。

上記の弓の修練の性質上、部活動という限られた期間の中で部員は複数の弓を使うこととなります。弓一本一本は個人で買えないほど高価というわけではありませんが、決して安価でもありません。そのため個人で購入するのは、最終的に使用する強い弓一本ということがほとんどです。そこで部員の射技の更なる向上を目的として、今回の助成金では新生でも安心して使えるような弱めの弓を多く購入させていただきました。このことに対

して、九州大学基金支援助成事業に改めて感謝の意を表します。



試合終了後の集合写真です。

団体戦ではコメディカルが3位に入賞、個人戦では新2年生の女子が4位に入賞しました。

これから、また新たな新生たちが部活に入部してきます。今回購入させていただいた弓を有効に活用して、部員の射技を向上させ大会においても良い成績が残せるよう頑張らせていただきますので、これからもご支援とご声援のほどよろしくお願い致します。